

栃木県立烏山高等学校

第二校歌

作詞 戸倉廣愛

作曲 乗松昭博

(昭和28年10月17日制定)

- 一 朝影に緑かがやく寿亀ヶ丘
久遠の歴史われを育む
心の故郷この学び舎
聞け不死鳥の羽搏きを
希望の炎わが胸に燃ゆる
- 二 夕靄に流れささやく那珂の水
栄ゆる郷土われを抱ける
生命の源この学び舎
見よ七星の瞬きを
理想の光わが眉を照らす
- 三 遠空に雪嶺そびゆる那須の原
不変の真理われを導く
み祖のみ像その言の葉
咲け忘れじの花の香に
平和の使徒とわが道を歩む

第一校歌

作詞 大金丘寿

(明治41年4月28日制定)

- 一 千歳ことぶく 寿亀ヶ丘
紺青ながす 那珂の水
那須野ヶ原の 未遠く
わが校舎は そびえたつ
- 二 ここに集へる われわれは
恩愛深き 師のもとに
忠と孝とを 理想とし
学びの道を たどるなり
- 三 天を動かし 地をゆする
その功績も 何ならじ
固き心の ひとすじに
励まばなどか ならざらむ
- 四 学びの友よ いざさらば
こころの駒に むちうちて
いそしめともに 君のため
いそしめともに 国のため

栃木県立烏山女子高等学校

校歌

作詞 大木惇夫

作曲 乗松昭博

(昭和27年11月22日制定)

- 一 みどりしたたる 平群山
あしたにすぎし わが学び舎
あこがれはあり この門に
いよよ はげみて のびらかに
真理のいづみ 汲みとりて
やすらひの虹を したはむ
- 二 さやにめぐらす 青垣や
集ひもたのし わが友どち
なぐさめはあり この園に
いよよ睦て みやびかに
こころの種子を いとしみて
香ぐはしき花を 咲かせむ
- 三 清き流れの 那珂川の
うるほすひろ野 わが故郷
よろこびはあり この土に
いよよ努めて すこやかに
若木の柝を つちかひて
美はしき世をば ひらかむ

旧校歌

作詞 斎藤久米治

(昭和3年3月制定)

- 一 青垣こもるからす山
あたごの陵にちぎりてし
おしへにはの撫子は
いまを春べと萌江出でぬ
- 二 栄え行く御代御恵みに
日本もろこしはた西洋の
色こきまぜて庭もせに
己がむきむき咲きねかし
- 三 渡る江湖のかぜあらみ
移ろひやすきはなのいろ
ちりだに据えぬ心もて
たかく千年ににほはなん